

平成29年度 第5回議会報告会での質疑応答のまとめ

※当日、会場にてお答えした内容が主ですが、執行部に確認を取り、一部訂正しております。
また、紙面の都合上、一部割愛をしております。
議会報告会当日のすべての質疑応答は小城市ホームページに掲載します。詳しくはそちらをご覧ください。

教育委員会

問 公立保育園・幼稚園の民営化について。

答 今回あしかりこども園と岩松保育園の民営化により、これまでの民営化計画は終了した。今後の計画については、庁内で協議・検討している。

問 三日月幼稚園でも一時預かり保育や延長保育を認めてもらえないか。

答 現段階で、実施は難しいと考えている。

問 市内には30年以上継続している公共施設の借地問題がある。購入するようできないか。

答 解消に向けて、随時交渉を行っているが、解決にいたっていない。今後も、交渉を継続していく。

高齢者福祉

問 高齢者施設等防犯対策強化事業で事業所から申請がないかぎり市は補助をしないということなのか。

答 防犯装置、設備の設

置工事には受益者負担が伴うので、事業所からの申請での補助の対象となる。

胃がん検診

問 胃力メラでの胃がん検診の助成事業について、対象年齢が年度末で50歳代偶数年齢とあるが、せっかく個人負担が5,000円でできるなら対象年齢を拡大してほしい。

また、ピロリ菌検査は補助対象になるのか。

答 胃内視鏡検査（胃力メラ）については、県内広域化を視野に平成29年度から事業を実施している。円滑な事業実施のため県内参加市町及び医療関係者で構成する運営委員会が設置され、対象者、検診の実施方法、検診費用などが定められた。平成29年度の定員は200名を予定している。対象年齢の拡大については、今後、運営委員会で検討されていくと考える。

また、胃内視鏡検査のみが補助対象となり、ピロリ菌の検査についての補助は行っていない。

ゴミ処理施設

問 天山区共同環境事業でゆうらくの跡地に新施設を建設するとの説明だが、ゆうらくの跡地の施設と併設するのか。現在、中継センターに不燃物等を持つて行っているが多久市に施設が完成したら、今後、持ち込む所はどこになるのか。

答 旧ゆうらく跡は宿泊施設と温泉施設があったが、建設予定地は、その下の方に大きな波が出る野外プールがあったところになる。完成後は、事業所等の燃えるごみは新施設への持ち込みとなる。市民の持ち込みについては、現状の体制維持も視野にいて現在調整中である。

防災・減災・災害対策

問 牛津公民館一带は牛津町でも低い位置にあるといわれる。いまだに台風や大雨の時の自主避難所として案内されている。防災備蓄倉庫もこの敷地内に作ら

れている。牛津公民館に避難されていて、いざ危ないとなった時に牛津小学校まで移送される体制は作られているのか。

答 避難場所については堤防が決壊しない場合だったら牛津公民館が避難場所としては有効だと考えている。既存の施設で有効と判断して備蓄倉庫にしたと説明を聞いている。近年はゲリラ豪雨等すごい雨量が想定されるので、防災会議で検討する。若干時間がかかると聞いている。

市長政策・市の課題

問 市長の公約のアイルの資源磨き構想は、今どうなっているのか。

答 29年2月から検討・調査を行っており、今後の予定として今年度は事業計画や手法の検討を行い、30年度以降に整備計画の方針を決定すると聞いている。

問 小城市の運動公園跡地利用について今後の利活用の計画は。

答 旧小城町時代、平成12年に江里口市長が旧町長に当選した時、中止をした経緯がある。その後、町議会、合併後の市議会の中でも利活用について協議をしていたが、土地開発基金で事業推進を図っており平成25年まで買戻しをして、庁内でプロジェクトチームを立ち上げて今のニーズに合う、将来的な活用を考えて計画を練っていくとのこと。面積は130,240㎡、25年度までに72,720㎡買戻しをしている。

西九州大学誘致

問 誘致することで地域の活性化を図ると言われているが、具体的にどのようなことができるのか。これだけの予算を使って採算が取れるのか。学生駐車場対策は、どんな内容か。

答 看護学部開学予定地周辺は幼稚園、小学校それに県立高等学校が隣接する文教地区であり、大学を誘致することにより人が集まり、にぎわいの創出につながる。初年度の学生数は90

名で4年後は360名になり経済効果は市の試算で8億円としている。駐車場については、大学側では、キャンパス内に教職員用として、45台分を整備し、確保される予定となる。また、学生駐車場については、大学の方で民間の駐車場を借り、開学年度から順次学生数に応じて必要数を確保される予定と聞く。

ゆめぷらっと小城

問 ゆめぷらっと小城の建設の件で、最後の結末はどうなったのか、経緯と顛末は。

答 この件は、2016年5月の議会日より、2017年5月の議会日よりで説明している。職員の事務的な手続きの遅れが原因で交付金772万円を4月10日に返還している。職員、関係上司、副市長、市長の減給処分を行った。

問 小城高校、桜岡小学校、幼稚園の雨の日の送り迎えの車両の実態を想定されて計画をたてられたのか。今の計画では、相当混乱すると思う。

答 大学教職員の通勤はもとより、学生の通学についても本町通りからの進入のみに統一し、北からの進入はしないよう協力依頼を行い、大学側も了承されている。建設予定地周辺道路の安心・安全かつ円滑な交通環境に資するため、関係者間で状況報告及び意見交換を行う場として大学建設予定地周辺交通安全連絡

会議を設置し、相互に連携協力して取り組んでいくことが確認されている。

牛津の市営住宅

問 エレベーターは、どうなっているのか。戸数はどうなっているのか。新たに希望する人が入居できるのか。

答 完成している4階建ての1号棟にはエレベーターを設置している。2号棟にも設置する。

入居できるのは原則として現在牛津の市営住宅にお住まいの方となっているが、全80戸のうち20戸ぐらいは余裕がある。この20戸については来年の2月～3月に公募をする。条件を満たした方が予定数以上に応募があった場合は抽選を行う。

牛津駅周辺開発

問 牛津駅は、南からも乗れるように計画されるのか。

答 牛津駅周辺整備の基本構想は、駅周辺を活性化して南からの乗り入れ、線路の上をむすぶ自由通路とエレベーターを造る計画もある。エレベーターを1基造るか2基造るかは検討中。

農業用水路の保全

問 農業用排水路で、一部地区の水路を3面ともコンクリートにしたいという要望をあげているがまだでき

ない。ぜひ力を入れていただきたい。

答 3面コンクリートができれば一番いいが費用もかさむので、多面的機能交付金やクリーク防災事業などを活用して水路の保全を図っていく。

ふるさと納税・観光協会

問 ふるさと納税の内容と状況について。

答 28年度は、約15億8,000万円の寄附を受け、返礼品等の経費を差し引いて小城市に約5億6,000万円入っている。子ども子育て教育のまちづくり、健康のまちづくり、市長お任せコースがあり、各課のいろいろな事業に充当されている。

問 ふるさと納税の返

礼品業務は観光協会が行っており、その業務で税金をいくら支払ったのか。

答 28年度決算では法人税等が約4,100万円、消費税が約1,600

0万円と聞いている。

問 清水竹灯りの灯籠に使用する竹について。

答 使用する竹は、毎年、市有地の竹を使用する。昨年度は、シルバー人材センターが人員不足で、初めて竹材屋から竹を購入した。金額は21万

円。なお、財源については、清水竹灯り協力金(1人500円)及び企業からの事業協賛金等を使っている。また、イベントが終わった後の竹灯籠については、翌年度使えるものは保管し使っている。使えなくなったものは、ごみとして処分する。



▲本年度の議会報告会のようす